



心和得天真

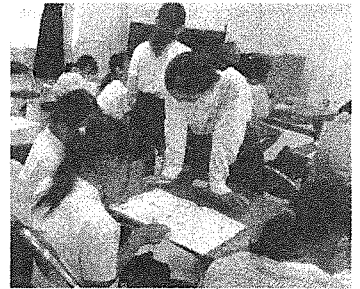
～心和して天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和7年9月

実り多き2学期に向けて！

今日から9月になりました。夏休みの静かな校舎から一転、子どもたちの元気な声で大歳小学校に活気が戻ってきました。やはり、学校は子どもたちの姿があってこそその場所であり、子どもたちによって動き出すものだと、改めて感じています。



1学期終業式では、「地域の行事に参加しよう」「命を大切にしよう」と子どもたちに話をしました。今年の夏はこれまでにない猛暑となり、「元気に過ごしているだろうか」と心配していましたが、大きな事故もなく、安全で楽しい夏休みになったようです。夏休み中には、OKB 学習会、おおとし縁日、子ども講座、おおとし夏祭り、キッズフェスティバルなど、地域やPTAの様々な行事で元気な子どもたちの姿を見ることができました。保護者や地域の皆様の温かい見守りに心から感謝申し上げます。

また、夏休み中に行われた学校運営協議会（拡大版）では、「ふるさと大歳に誇りをもてる子どもを育てるために」をテーマに、地域・保護者・教職員で熟議を行いました。熱い熟議が繰り広げられる中、以下のような意見をいただいています。

- ・学校だけでなく、地域や家庭が一緒になって子どもを育てることが大切。
- ・子どもが「大歳が好き」「学校が楽しい」と感じられる活動を積極的に。
- ・地域の人・もの・ことに触れ、好きになる機会を。
- ・地域の思いや願いに触れる・気づく感動体験を大切に。
- ・感謝の心や憧れの気持ちを育てる経験を。 など



4月の全国学力・学習状況調査では、「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対し、本校の肯定的回答が79.6%、「将来の夢や希望をもっていますか」という質問に対し肯定的回答が77.9%と、全国平均をやや下回りました。一方、「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」という質問に対し、肯定的回答は83.2%と全国平均を上回る結果でした。ふるさと大歳を基盤とした教育を通して、自分のよさを認めて伸ばし、役立っている実感を得たり、思いやりの心を育てたりすることにつなげていきたいと考えています。熟議の意見を参考にしながら取組を改善し、「大歳が好き」と感じる子が増え、やがて地域の未来を創る存在になってくれることを期待しています。

2学期は、社会見学、修学旅行、チャレンジ学習など、大きな行事が各学年で予定されています。地域と連携した学びも進めていきます。子どもたちが自分のよさや友達という喜びを実感し、この地域でかけがえのない経験を重ねられるよう、教職員一同尽力してまいります。引き続き、717名の大歳っ子を温かく見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

校長 門岡 裕二